



- 高い志と確かな学力をはぐくむ (知)
- 思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ (徳)
- たくましい身体と心をはぐくむ (体)



↑↑↑校内では、卒業式までのカウントダウンが始まりました。

学校評価「保護者アンケート」の結果について

11月下旬から12月にかけて、とうべつ学園の学習活動について振り返る「保護者アンケート」のご協力をお願いしました。お忙しい中、ご回答をいただき、感謝申し上げます。結果がまとまりましたので報告いたしますが、紙面の都合上、概要のみの提示となっている部分がありますのでご了承ください。

いただいた評価やご意見を参考にして、改善すべきところは改善し、関係機関に働きかける必要があることは、意見・要望として伝えていきます。(校舎や設備関係などの教育委員会管轄になる意見・要望の一部はすでに報告済みです。)

引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

☆数値評価(4点満点)

※「よい_4」～「要改善_1」まで4段階+「わからない_0」の5段階評価

経営方針		質問内容	4(青)	3(赤)	2(黄)	1(緑)	0(紫)	平均値	グラフ
信頼と調和のある学校づくりの推進	1	とうべつ学園の教育活動全般について。	49.0%	42.2%	0.5%	1.0%	7.4%	3.50	
	2	学校は、危機管理意識を持ち、事故等の未然防止に努めている。	43.1%	44.1%	4.9%	1.0%	6.9%	3.39	
児童生徒の自己実現を図る教育の推進	1	学校は、一人一人のよさを生かす学年・学級経営に努めている。	47.1%	38.2%	5.4%	0.5%	8.8%	3.45	
	2	学校は、自己実現を図るキャリア教育や進路指導の充実に努めている。	33.3%	38.2%	6.4%	0.0%	22.1%	3.35	

経営方針		質問内容	4 (青)	3 (赤)	2 (黄)	1 (緑)	0 (紫)	平均値	グラフ
必要となる資質・能力を確実に育む教育の推進	1	学校は、確かな学力向上をめざし、学習指導の充実に努めている。	35.8%	49.5%	8.3%	0.5%	5.9%	3.28	
	2	学校が行う3年生からの教科担任制は、個に応じたきめ細かな学習指導の充実のために有効である。	50.0%	33.3%	2.9%	0.5%	13.2%	3.53	
	3	学校が行う「対話」的な活動は、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育むために有効である。	48.5%	37.7%	2.9%	0.5%	10.3%	3.50	
	4	学校は、ICT機器を有効に活用し、学習指導の充実に努めている。	44.6%	41.7%	6.4%	0.5%	6.9%	3.40	
	5	学校は、自主的・実践的な態度を育むために、体験的な学習の充実に努めている。	41.2%	48.5%	5.4%	1.0%	3.9%	3.35	
豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進	1	お子さんは、これまでに学んだことをいかして、より良い学校生活を送ろうとしている。	44.6%	45.6%	5.9%	1.0%	2.9%	3.38	
	2	お子さんは、自分の役割に責任をもち、周りとの協力しながら生活している。	47.5%	46.1%	2.9%	1.0%	2.5%	3.44	
	3	学校は、児童生徒の心のサインを受けて止め、適切に対応する指導体制の確立に努めている。 (不登校児童生徒への指導体制の整備・充実)	25.0%	37.7%	7.4%	2.0%	27.9%	3.19	
	4	学校は、落ち着いた校内環境の整備に努めている。	45.6%	38.7%	6.4%	2.0%	7.4%	3.38	
	5	お子さんは、健康や安全に気を付けて、楽しく学校に通っている。	50.0%	41.7%	4.9%	2.0%	1.5%	3.42	
共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進	1	学校は、自他を大切に、互いに認め支えあう教育の充実に努めている。	34.3%	50.5%	5.9%	0.5%	8.8%	3.30	
	2	学校は、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育の充実に努めている。	32.4%	46.1%	7.8%	2.0%	11.8%	3.23	

経営方針		質問内容	4 (青)	3 (赤)	2 (黄)	1 (緑)	0 (紫)	平均値	グラフ
時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進	1	お子さんは、学校や家庭で決めたルールやマナーを守り、正しくインターネット（タブレット）を使っている。	39.7%	40.7%	15.2%	3.4%	1.0%	3.18	
	2	お子さんは、外国について知ることや、外国語を使ってコミュニケーションをとる学習に意欲をもって取り組んでいる。	23.5%	41.7%	22.5%	6.9%	5.4%	2.87	
	3	お子さんは、自然を守り、環境について考え行動する学習に意欲をもって取り組んでいる。	27.9%	50.0%	12.7%	2.5%	6.9%	3.11	
	4	お子さんは、進んで読書に取り組んでいる。	24.5%	26.0%	31.9%	15.2%	2.5%	2.61	
家庭・地域と連携し、地域とともに児童生徒を育む教育の推進	1	学校は、保護者や地域の方に向けて適切な情報発信に努めている。	36.3%	49.0%	7.8%	1.5%	5.4%	2.77	
	2	学校は、教育活動に対して保護者や地域の方から意見や感想を聞くように努めている。	31.9%	46.6%	8.3%	4.4%	8.8%	3.27	
	3	お子さんは、進んで地域の行事に参加している。	18.6%	45.1%	23.5%	8.3%	4.4%	3.16	
	4	お子さんは、当別の歴史や文化に興味を深めている。	13.7%	34.8%	33.8%	9.8%	7.8%	2.57	

【数値評価の見解】

概ね 3.00 以上の良い評価をいただきましたが、キャリア教育やいじめ・不登校に対する本校の取り組みへの周知等に課題があることがわかりました。

また、外国語教育、読書教育、学校の情報発信、お子さんの地域への関心度に関わる評価に改善点が見られましたので、学年・学級と連携をさらに深め、適切な情報発信と取り組みの改善に努めてまいります。



☆記述評価(概要)

負担軽減について 例)「家庭への負担を軽減してほしい」

【見解】 学校としては、各家庭から徴収する金額や内容等を都度見直し、過度なご負担をかけないよう配慮しているところです。一方、物価の高騰等に影響を受けることも今後想定されます。各家庭の負担軽減を常に留意し、適切な予算計画と執行に努めていきます。給食費については教育委員会所管ではありますが、令和5年度当初に値上げしたことを踏まえさらに工夫しながら食育の一助にすることを町教委として説明しております。また、制服については、契約している業者様へ負担軽減を伝え続けていくこととしておりますが、諸事情により状況が変わることも予想されますことを申し添える次第です。

駐車場について 例)「もっと止めやすい駐車場になりませんか」

【見解】 スポーツフェスティバルや学園祭では、相当数のご家庭等がお車を利用することを想定しました。本学園の駐車スペースには限りがあり、すべてのニーズに応えられないと判断し、河川敷などの別な場所を借用し使用を推奨した次第です。来年度についてもある程度ご負担をおかけすることを想定しておりますが、できる工夫がないか等、職員やPTA役員様などとともに検討してまいります。

また、放課後やプレイハウス利用時のお迎えの際、不便さを感じるのとご指摘をいただきました。本校は、道職員のみでなく、町スタッフ、非常勤職員などをあわせると総勢70名ほどになり、それぞれ退勤時間が異なる状況です。そのため、児童等のお迎え時に、職員がある程度固まって駐車していないことになり、ご不便を感じさせるのではととらえております。さまざまな方が利用する駐車場であることには引き続き留意し、適切に使用するよう職員一同心がけることといたします。また、ご利用する保護者の皆さまも同様に、学びの道を車で横断しないこと等、引き続き安全に配慮してご利用くださいますようお願いいたします。

エアコン(熱中症対策) 例)「今年度は特に暑い日が多かった。エアコンはつかないのか」

【見解】 今夏の熱中症アラート発令時には、午前授業措置、熱中症アラートの数値を見極めて児童生徒の活動制限実施等で対応しました。今後も猛暑の傾向は続く想定され、学校の状況をとらえた町教委としても、西地区2校も含め総合的に検討し町予算の確保などさまざま尽力している状況ととらえています。来年度、学校としては引き続き、熱中症アラートなどの客観的数値をもとに適切に対応していくこと、熱中症対応マニュアル等の危機管理体制を改めて職員全体で確認してまいります。

車両の通行に関して 例)「車の往来で危険と思われる場面がある。対策はどうなっているか」

【見解】 保護者等のお車での駐車場利用については、危険箇所の周知、学びの道を車にて横断しないなどの周知が必要ととらえており、1月23日付「送迎時の駐車場所について」を発出済みです。この機会に、改めてご確認ください。

バス通学に関して 例)「スクールバスを利用できる対象者をもっと拡大してほしい」

【見解】 バス利用について多くの意見をいただきました。町教委には、いただいた意見をそのまま伝えることとします。また、年度当初等、バス利用の考え方等について保護者の皆さまと適切に情報共有することが必要と学校としてはとらえており、町教委と連携して進めてまいります。

学習規律について 例)「落ち着いた学習環境を確保するための学校の取り組み状況は」

【見解】 学習規律に関しては、担任だけでなく担任外の教師も含め、多くの教職員で可能な限り学習支援を行っています。ルールの徹底も含め、児童・生徒が定期的に振り返る場を今後位置付けていくことで、意識付けを行ってまいります。

学習内容について 例)「ICTも重要だが『書く』ことも大事なのでは」

【見解】 書く学習は、すべての教科学習の基本となります。学校でも、新出漢字学習、定期的なミニテストの実施などを実施しています。また、学習課題に対する自分の考えをノートに書いたり、その時間の振り返りを書いたりするなど「書く」活動を重点的に取り組む場面も設定しています。ICT機器を使つてのまとめなども増え、以前と比べると確かに書く活動は少なくなってきたと感じるかもしれませんが、必要に応じて書く活動も取り入れた学習を今後も継続してまいります。

学校行事について 例)「来年度の学園の行事の持ち方は」

【見解】 今年度、新たな試みとして5・6年生の学園祭の参加、9学年によるスポーツフェスティバルを行いました。今年度の反省をもとに、来年度の5・6年生の参加内容についても学園祭コアチームを作って話し合いを進めております。スポーツフェスティバルについても同様です。また、5・6年生として、下級生との交流の機会も、今後検討を進めていきたいと考えています。

タブレットの持ち帰りについて 例)「家庭でのタブレットの使い方不安がある」

【見解】 「調べ学習」や「AIドリル」の活用など主体的な学びを進めるために、タブレットの持ち帰りが文部科学省や当別町で推奨されております。学校としてもタブレット使用の約束を児童生徒に継続して指導しております。以下のような約束を指導しておりますので、改めてご家庭でも持ち帰りバックに携帯させております「chrome book 利用のルール」等をご確認いただきながら、安全にタブレットが使用できるようご協力をお願いします。

①使用は学校の学習の目的のみ

・教科書と同じです。学校から指示された学習だけに使います。趣味や遊びなど、ほかの目的に使用するのは禁止です。

②家庭で使うときは、使い方についておうちの方と話をしましょう

・深夜まで使用してはいけません。・親が知らない場所で使ってもいけません。・長時間連続して使用するのは、健康上よくありません。・30分に一度、休憩しましょう。また、遠くを見るなど、目を休めましょう。

宿題の取り組みせ方について

例)「宿題をもっと出してほしい」または「宿題に休みの日があるとよい」

【見解】 とうべつ学園では、「家庭学習の手引き」を4月に配付しており、それをもとに各学年の発達段階に合わせた家庭学習を推進しております。

学校から提示をしております宿題については、家庭学習の補助的な役割と位置づけています。宿題を家庭学習に取りかかるきっかけにしながら、各ご家庭で、お子さんのスケジュールや意欲に合わせた学びを推進していただければと思います。子ども達がより自立した学びを習慣化していけるように、学校からも宿題の提示や意欲に結びつく情報の発信に努めて参ります。

冬の制服・カーディガンの着用について 例)「カーディガンの着用を認めてほしい」

【見解】 今後、指導部で検討します。基本的には今までである防寒をしっかり行うことが大切です。ストッキングをはく、ブレザーを着用する等、ご家庭でも防寒への備えをお願いします。

部活動について 例)「部活の日数や時間は短くなりませんか」

【見解】 部活の日数、時間を短くすることはありません。(前期課程は、後期課程より30分早く下校)それを踏まえて、部活動の入部を検討していただきます。保護者に部活動の加入については、保護者の支えがある中、学校生活をきちんと送った上で入部することができることを、入部案内の資料や参観授業の懇談などで周知していきます。

・部活動に関わる自転車利用の要望がありましたが、前期課程と後期課程では、自転車通学の区域が違います。昨年度、5、6年生部活動生徒について、申し出があった場合、土日の自転車通学を認めました。平日も認めるかどうか、検討が必要です。

マスクの着用について 例)「マスクは可能な範囲で着用させたほうがよいのでは」

【見解】 流行りによって、マスクの着用を推奨することは、今後も行います。